1.2.3. 一針ずつ丁寧に縫い上げてつくる「つるしびな」
4.5.6.7.8. 大西神社での飾り付け。手早く飾り付けていくはなもも会のメンバー 9. あげきのおひなさんの開催期間中は、さまざまなメディアに対応。この日は、テレビ局の取材を受けていました 10. 桃色の旗で華やかなまちなかに 11. はなもも会のメンバーで準備した寄せ植え 12. ほこりを払ってひな人形をしまう 13. 最後にみんなで「おつかれさま」の大ジャンプ！

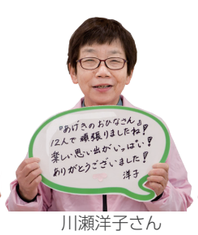
活動を振り返って

水元暁美さん

田中なつみさん

三林るみさん

杉山信子さん



川瀬洋子さん

伊藤みち子さん

伊藤孝子さん

近藤眞澄さん

中川佐喜子さん

服部寿子さん

近藤良子さん

故 近藤町子さん
2年前に亡くなったメンバーの町子さんへ「まっちゃん、ありがとう。よく頑張ったね」（一同）

来年以降の「あげきのおひなさん」は、阿下喜まちなか発展会に引き継がれ、商店や個人宅でのひな飾りで、訪れる人を魅了していく予定です。
はなもも会の皆さん、長年ありがとうございました。

はなもも会　活動に幕

まちを桃色に彩った 16 年

2 月の下旬から 3 月上旬までの 2 週間、北勢町阿下喜で開催される「あげきのおひなさん」。
このイベントの立役者「はなもも会」は、16 年の活動に幕を下ろすことを決めました。
はなもも会として携わった最後の「あげきのおひなさん」に密着しました。

2005 年に北勢町商工会阿下喜支部が、まちを活性化させようと始めたのが「あげきのおひなさん」の始まりです。当初は、商工会に加入する 37 店舗の店先でひな飾りを展示するものでした。それを見た田中なつみさんは、「もっと盛り上げることはできないだろうか」と水元暁美さんと近藤眞澄さんに声をかけて結成したのが、「はなもも会」です。友人たちを誘い合い、2007 年に 8 人で活動を開始しました。はなもも会は、ひな飾りで有名な静岡県や岐阜県への視察を行い、そこで見て得たアイデアを基に、つるしびなや段飾りに挑戦していきました。

年々、「あげきのおひなさん」に参加する店舗や個人宅が増えていき、訪れる人の数も比例して増え、多い時には 1 万 7,000 人が訪れるまでの大きなイベントに成長しました。名物の 22 段飾りは、メディアにも取り上げられ、地元住民からは「盛り上げてくれてありがとう」と声を掛けられるように。

仕事や家事を終えた夜に集まり、2 週間かけて 22 段飾りを準備してきました。高い所での飾り付けは、体を支えながらの作業に。12 人に増えたメンバーは 60 ～ 70 代になり、体力的に続けることが難しいと感じるようになりました。全員で話し合い、今年で活動の終了を決断。会長の水元さんは「大変なこともあったが、とても楽しかった。多くの人が阿下喜を訪れてくれて嬉しかったです」と活動を振り返りました。